

日田市埋蔵文化財調査報告書第96集

祇園原遺跡Ⅱ
(近世墓編1)

祇園原遺跡Ⅱ

(近世墓編1)

日田市埋蔵文化財調査報告書第96集

2010年

日田市教育委員会

2010年

日田市教育委員会

序 文

大分県日田市は、市街地のある小さな盆地を中心として、それを取り囲む山林が市域の85%を占める山間都市です。この地形的特性を生かした林業は「日田杉」というブランドを創出し、「秋田杉」「吉野杉」とともに日本三大美林として広く知られ、近代以降の日田の経済を支えてまいりました。しかし90年代初頭のバブル崩壊により当市の林業も大打撃を受け、この基幹産業を守るべく計画されたウッドコンビナート（日田高度総合木材加工団地）は、現在では日田の木材の一大集積地としての機能を担いつつ、廃材等を利用した木質バイオマス発電施設も稼動するなど、産業の発展と環境保全の両立を推進しております。

本書はこのウッドコンビナート建設事業に伴い発掘調査を実施した有田塚ヶ原遺跡群のひとつ、祇園原遺跡の調査内容の一部を平成18・19年度に引き続きまとめたものです。この調査では、弥生時代から古墳時代に営まれた集落と江戸時代の墓地が見つかっていますが、今回は江戸時代の墓地について報告いたします。

貴重な遺跡の調査成果をまとめました本書が、文化財の保護や地域の歴史などの普及啓発に、また学術研究等にご活用いただければ幸いです。

最後になりましたが、調査にご協力いただきました関係者の方々、また寒暖なく現場での作業および遺物の整理作業に従事いただきましたの方々に対して、心から厚くお礼を申し上げます。

平成22年3月

日田市教育委員会

教育長 合原 多賀雄

例 言

1. 本書は、市林政課（当時）が計画・実施したウッドコンビナート建設推進事業に先立ち、平成6年度～9年度に市教育委員会が実施した有田塚ヶ原遺跡群発掘調査のうち、平成7～8年度に実施した祇園原遺跡の発掘調査報告書の第3分冊（近世墓編1）であり、ウッドコンビナート建設推進事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書の6冊目にあたる。第1分冊は「祇園原遺跡Ⅱ（弥生・古墳時代遺構編）」として平成18年度に、第2分冊は『祇園原遺跡Ⅱ（弥生・古墳時代遺物編）』として平成19年度に刊行済である。当初はこの第2分冊を弥生・古墳時代遺物および近世墓編として計画していたが、諸般の事情により弥生・古墳時代の遺物のみの掲載となったため、今回の第3分冊は近世墓のみの掲載となる。なお人骨の分析や遺跡の考察については、第4分冊として、機会を改めて報告する予定である。
2. 調査にあたっては、市林政課（当時）、工事関係者、大分県教育委員会および地元の方々にさまざまなご協力をいただいた。記して感謝申し上げます。
3. 本書に掲載した遺構実測は調査担当者が行い、人骨の実測・取り上げは九州大学の田中良之助教授（当時）に依頼した。
4. 遺構や人骨の現場での写真撮影は、調査担当者が行った。
5. 挿図中の方位はすべて磁北であり、文中の方位角も磁北で示している。
6. 製図は株式会社埋蔵文化財サポートシステム大分支店に委託し、その成果品を使用した。
7. 空中写真撮影は株式会社スカイサーベイに委託し、その成果品を使用した。
8. 調査にかかる図面・写真類は、日田市埋蔵文化財センターにて保管している。
9. 人骨の分析・処理保管等については、九州大学の田中良之助教授（当時）に依頼した。
10. 本書の執筆・編集は行時志郎（日田市立博物館）の協力のもと行時桂子が行った。



日田市の位置

本文目次

はじめに	1
(1) 祇園原遺跡の調査の概要	1
(2) 調査組織	1
(3) 遺跡の立地と環境	1
IV 近世墓の調査	7

挿図目次

第1図 周辺遺跡分布図 (1/50,000)	2	第12図 9号墓実測図 (1/20)	16
第2図 遺構配置図 (1/500)	3~4	第13図 10号墓実測図 (1/20)	17
第3図 近世墓群遺構配置図 (1/50)	5~6	第14図 11号墓実測図 (1/20)	18
第4図 1号墓実測図 (1/20)	8	第15図 12号墓実測図 (1/20)	19
第5図 2号墓実測図 (1/20)	9	第16図 13号墓実測図 (1/20)	20
第6図 3号墓実測図 (1/20)	10	第17図 14号墓実測図 (1/20)	21
第7図 4号墓実測図 (1/20)	11	第18図 15号墓実測図 (1/20)	22
第8図 5号墓実測図 (1/20)	12	第19図 16号墓実測図 (1/20)	23
第9図 6号墓実測図 (1/20)	13	第20図 17号墓実測図 (1/20)	24
第10図 7号墓実測図 (1/20)	14	第21図 18号墓実測図 (1/20)	25
第11図 8号墓実測図 (1/20)	15	第22図 19号墓実測図 (1/20)	26
		第23図 20号墓実測図 (1/20)	27
		第24図 21号墓実測図 (1/20)	28

第25図	22号墓実測図 (1/20)	29	第42図	39号墓実測図 (1/20)	46
第26図	23号墓実測図 (1/20)	30	第43図	40号墓実測図 (1/20)	47
第27図	24号墓実測図 (1/20)	31	第44図	41号墓実測図 (1/20)	48
第28図	25号墓実測図 (1/20)	32	第45図	42号墓実測図 (1/20)	49
第29図	26号墓実測図 (1/20)	33	第46図	43号墓実測図 (1/20)	50
第30図	27号墓実測図 (1/20)	34	第47図	44号墓実測図 (1/20)	51
第31図	28号墓実測図 (1/20)	35	第48図	45号墓実測図 (1/20)	52
第32図	29号墓実測図 (1/20)	36	第49図	46号墓実測図 (1/20)	53
第33図	30号墓実測図 (1/20)	37	第50図	47号墓実測図 (1/20)	54
第34図	31号墓実測図 (1/20)	38	第51図	48号墓実測図 (1/20)	55
第35図	32号墓実測図 (1/20)	39	第52図	49号墓実測図 (1/20)	56
第36図	33号墓実測図 (1/20)	40	第53図	50号墓実測図 (1/20)	57
第37図	34号墓実測図 (1/20)	41	第54図	51号墓実測図 (1/20)	58
第38図	35号墓実測図 (1/20)	42	第55図	52号墓実測図 (1/20)	59
第39図	36号墓実測図 (1/20)	43	第56図	53号墓実測図 (1/20)	60
第40図	37号墓実測図 (1/20)	44	第57図	54号墓実測図 (1/20)	61
第41図	38号墓実測図 (1/20)	45	第58図	55号墓実測図 (1/20)	62

写真図版目次

- 巻頭写真図版1 祇園原遺跡全景（南西から）
 巻頭写真図版2 近世墓全景（調査途中／上が北）

本文写真目次

- 写真1 調査前の近世墓群（南から）
 写真2 近世墓群検出状況（南から）

はじめに

(1) 祇園原遺跡の調査の概要

祇園原遺跡は日田市大字東有田のウッドコンビナート（日田高度総合木材加工団地）建設地内で確認された遺跡である。ウッドコンビナート建設事業は、日田市の基幹産業である林業が抱える諸問題への対策、および県が策定したグリーンボリス構想に基づき木材供給基地として計画されたもので、1期工事の開発面積約68haのなかで本遺跡を含め7つの遺跡が確認され、「有田塚ヶ原遺跡群」とした。祇園原遺跡は比高差30mほどの丘陵上に立地しており、調査面積は9,828㎡である。現地での作業は平成8年3月7日～平成8年10月3日の間行った。検出された遺構は、弥生～古墳時代の竪穴住居26基、掘立柱建物8棟、円形周溝遺構1基、小児用甕棺墓5基、土坑11基および近世墓55基である。詳細な調査原因や経過、調査組織等は『祇園原遺跡Ⅱ（弥生・古墳時代遺構編）』を参照いただきたい。

(2) 調査組織

今年度の報告書作成にかかる調査組織は下記のとおりである。

平成21年度（報告書作成）

調査主体	日田市教育委員会
調査責任者	合原多賀雄（日田市教育委員会教育長）
調査事務	原田文利（日田市教育庁文化財保護課長） 北村 羊（同主任兼埋蔵文化財係長）、河津美広（同専門員）、塚原美保（同主査）
報告書担当	行時桂子（同主査）
調査員	今田秀樹（同主査）、若杉竜太（同主任）、渡邊隆行（同主任） 矢羽田幸宏（同主事）、比嘉えりか（同嘱託）

(3) 遺跡の立地と環境

大分県西部、筑後川上流域に位置する日田市は、標高80mほどの沖積地の周囲を阿蘇溶岩・耶馬溪溶岩の台地が囲み、市の境界域には700～1,000m級の山々が連なる盆地である。この山々を源とする大小の河川は溶岩台地を縫って沖積地へ流れ込み、やがて筑後川へと集束する。

祇園原遺跡を含む有田塚ヶ原遺跡群は盆地東部に広がる台地上、花月川支流の有田川・求来里川流域の阿蘇溶岩台地を中心に立地し、全体的に起伏に富んだ地形の丘陵上や小さな谷に集落が、斜面などには墳墓が築かれている。祇園原遺跡はこのような地勢の丘陵上平坦部に営まれている。

この有田塚ヶ原遺跡群では本報告のほかに、鉄器や装身具類など多数の副葬品が出土した古墳時代後期を中心とする大規模な墓跡・平島横穴墓群(7)、縄文時代早期の集石と古墳時代～古代の集落跡・石ヶ迫遺跡A・B地区(4)、古代の鍛冶関連遺構と遺物が出土したクビリ遺跡(5)、縄文時代の落とし穴と古代の建物群・有田塚ヶ原遺跡(6)、凝灰岩の箱式石棺を主体部とする古墳時代中期の円墳・尾漕2号墳(3)、丘陵の狭間の緩斜面に営まれた古墳時代～奈良時代の大集落・長迫遺跡(2)が調査されており、順次報告を行っているところである。

さて、今回の報告の内容は近世墓であることから、市内における近世墓の調査について概観してみる。

市内における近世墓の調査例を列挙すると、まず祇園原遺跡から東南東に1.2kmほどの近距離にある

大字東有田に所在する山口遺跡(8)で、桶を埋葬施設に使用し簀や煙管の雁首などが出土した18世紀中葉以前の墓が2基調査されている^(註1)。祇園原遺跡から西南西2.4kmにある赤迫遺跡(9)では、丘陵上で土坑墓が1基確認されている^(註2)。祇園原遺跡から南西4.0kmにある後藤家墓地(10)では、丘陵斜面で近世後期～明治期の墓4基が確認され、地上施設のみ調査が行われている^(註3)。祇園原遺跡から西北西5.7kmにある小迫墳墓群(11)では、丘陵尾根の先端部で6基の墓が確認されている^(註4)。釘が多数出土しており、箱式木棺などが用いられたようである。なお、祇園原遺跡では市道建設に伴う2次調査において、今回報告する近世墓群の位置とは弥生～古墳時代の集落跡を挟んで反対側、丘陵の北端部にあたる部分で、「元禄八乙亥年」ほかの銘のある1基の墓石と2基の近世墓が検出されている^(註5)。この2基の近世墓からは鉄釘の出土がなく、桶形木棺の使用が推定されている。

(註1) 山路康弘ほか編『山口遺跡』日田市埋蔵文化財調査報告書第20集 日田市教育委員会 2000

(註2) 行時志郎「1 赤迫遺跡(AKS)」『平成6年度(1994年度)日田市埋蔵文化財年報』日田市教育委員会 1996

(註3) 田中裕介編『日田市高瀬遺跡群の調査1 誠和神社裏遺跡 後藤家墓地 陣ヶ原辻原遺跡 高瀬深ノ田遺跡』大分県教育委員会 1995

(註4) 小柳和宏編『小迫墳墓群』九州横断自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書(3) 大分県教育委員会 1995

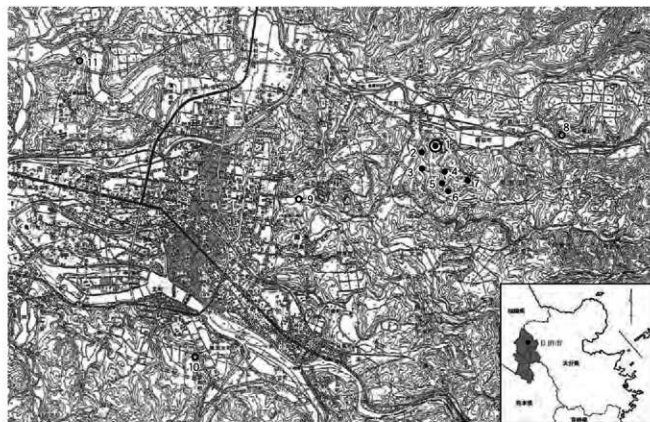
(註5) 土居和幸「第5章 祇園原遺跡2次」『平島遺跡D地点 塔ノ本古墳 祇園原遺跡2次 長迫遺跡C地点 長迫遺跡D地点 尾漕遺跡6次』日田市埋蔵文化財調査報告書第28集 日田市教育委員会 2001

〔参考文献〕

千田 昇「日田・玖珠地域の地形－とくに台地地形について－」『日田・玖珠地域－自然・社会・教育－』大分大学教育学部 1992

『平成4年度(1992)～16年度(2004)日田市埋蔵文化財年報』日田市教育委員会 1994～2005

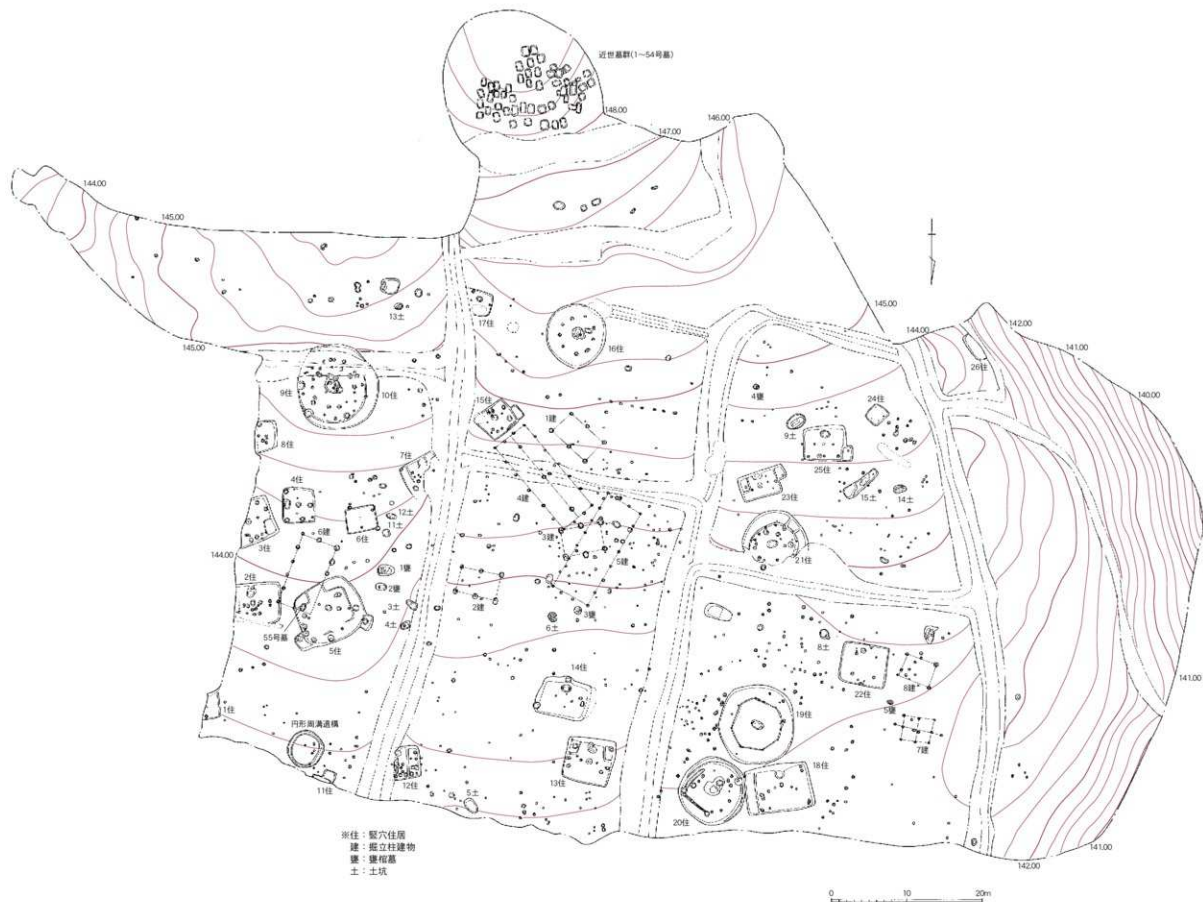
行時志郎編『有田塚ヶ原遺跡群』日田市教育委員会 1999 ほか各遺跡の調査報告書など



- | | | | | |
|---------|---------|-----------|--------|----------|
| 1 祇園原遺跡 | 4 石ヶ迫遺跡 | 6 有田塚ヶ原遺跡 | 8 山口遺跡 | 10 後藤家墓地 |
| 2 長迫遺跡 | 5 ケビリ遺跡 | 7 平島横穴墓群 | 9 赤迫遺跡 | 11 小迫墳墓群 |
| 3 尾漕2号墳 | | | | |

※有田塚ヶ原遺跡群と近世墓調査遺跡のみ表示

第1図 周辺遺跡分布図(1/50,000)



第2図 遺構配置図 (1/500)



第3図 近世墓群遺構配置図 (1/50)

IV 近世墓の調査

祇園原遺跡は丘陵頂部に存在し、調査前は調査対象地の大部分が畑地として利用されていたため、平坦な地形を呈している。祇園原遺跡の近世墓はこの畑地の北側でも2基確認されている^(註1)が、今回報告する近世墓群は、この丘陵頂部の平坦な地形の中でも弥生～古墳時代の住居群検出面より2～4m程度高い位置にあたり、調査前の状態で、正徳4（1714）年の記年銘を持つものをはじめ10基の墓石が認められた。地元の方々の話によれば、この墓地は遺跡の北東にある平島集落に住まう家の墓地であるが、お寺が火事であったため過去帳も焼失し、今では誰の墓なのかはわからないとのことである。

今回の調査では、墓石の位置を記録し、刻銘のある墓石について採掘したあと、墓石および表土の除去を行い遺構検出を実施した。その結果、54基の墓坑が検出され、その中からは総数40体の人骨が見つかり、近世墓としては市内ではこれまで例のない規模の調査となった。

墓坑の配置を見ると、狭い範囲に墓坑が密集しているため一見煩雑に見えるものの、墓坑の大きさや軸方向などにある程度の統一性がうかがえ、10基前後で構成されるグループが看取できるようである。全く切り合いのないグループや、反対に切り合いのばげしいグループもみられ、また平面長方形の墓坑から想定されるいわゆる寝棺の一群や平面正方形の墓坑から想定される座棺の一群など、埋葬方法によってもグループ分けが可能と思われる。

上記の墓群のほか、弥生時代中期末～後期前半のものと思われる隅丸方形の5号竪穴住居の調査において、住居を切る近世墓が1基検出され、人骨が見つかった（55号墓）。

次ページより、各遺構について実測図と墓坑に関する数値を掲載する（ ）は推定値である。なお、遺構実測図について、墓坑の断面図は長軸・短軸等からの断面見通しであるが、人骨については一方向からの全見通し図を合成したものである。

また、墓石の記録および人骨の分析については、次回刊行の近世墓編2に掲載する予定であるため、今回は人骨の検出状況等については触れていない。

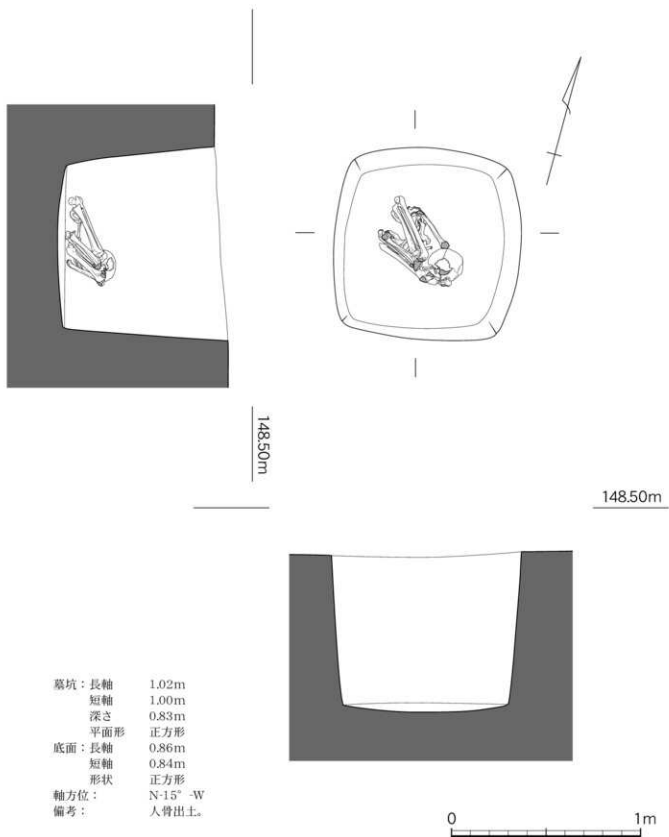
(註1) 土居和幸「第5章 祇園原遺跡2次」『平島遺跡D地点 塔ノ本古墳 祇園原遺跡2次 長迫遺跡C地点 長迫遺跡D地点 尾瀬遺跡6次』日田市埋蔵文化財調査報告書第28集 日田市教育委員会 2001



写真1 調査前の近世墓群（南から）

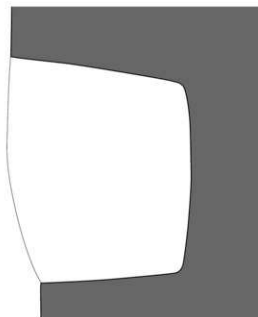
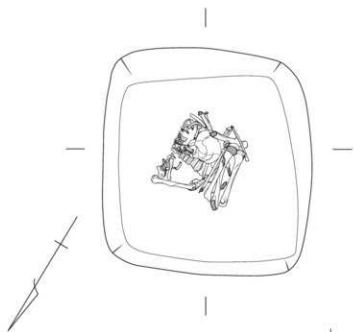


写真2 近世墓群検出状況（南から）

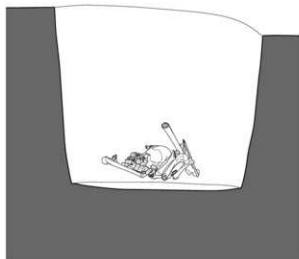


第4図 1号墓実測図 (1/20)

148.50m



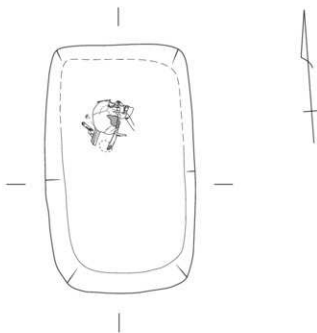
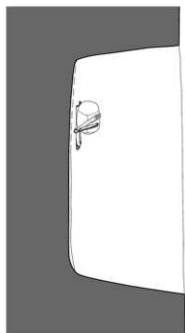
148.50m



墓坑：長軸	1.20m
短軸	1.10m
深さ	0.98m
平面形	正方形
底面：長軸	0.97m
短軸	0.92m
形状	正方形
軸方位：	N-32° -W
備考：	釘出土。約45cm四方の箱棺か？ 人骨出土。



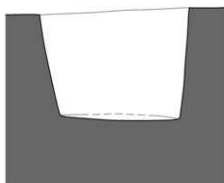
第5図 2号墓実測図 (1/20)



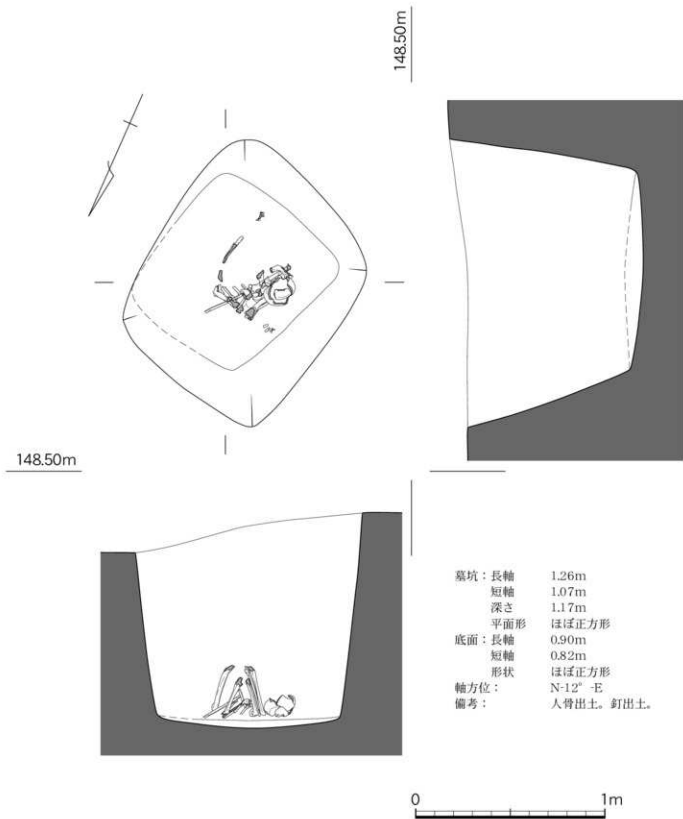
148.30m

148.30m

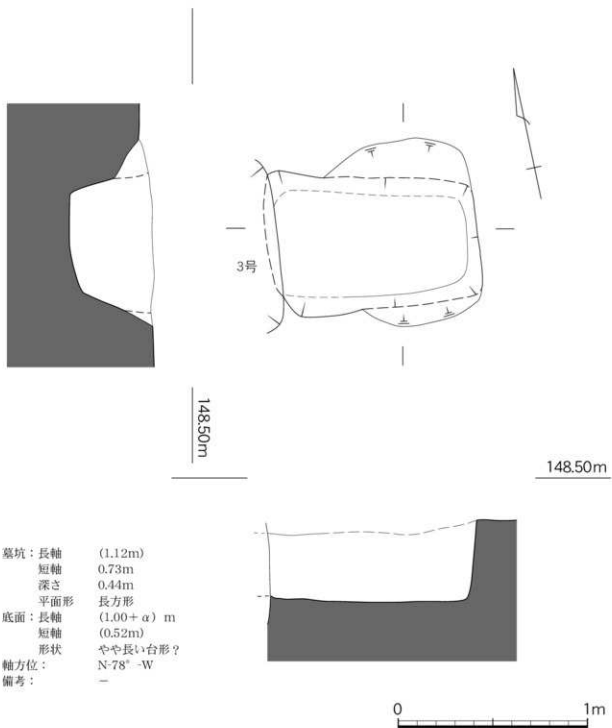
墓坑：長軸 1.32m
 短軸 0.80m
 深さ 0.60m
 平面形 長方形
 底面：長軸 1.13m
 短軸 0.64m
 形状 長方形
 軸方位：N-4°-E
 備考：人骨出土。



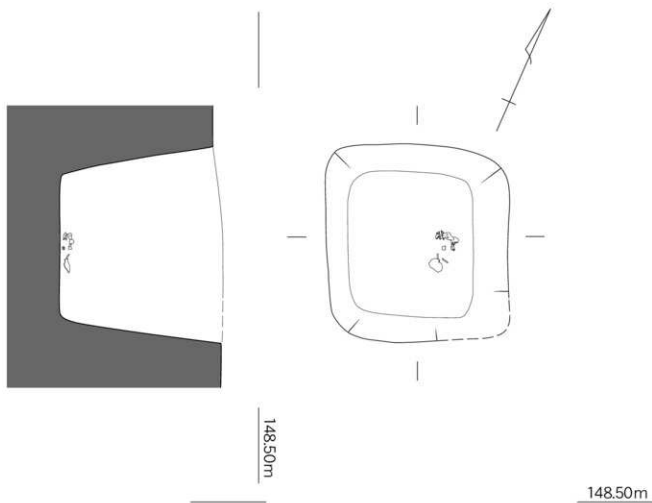
第6図 3号墓実測図 (1/20)



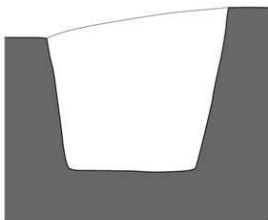
第7図 4号墓実測図 (1/20)



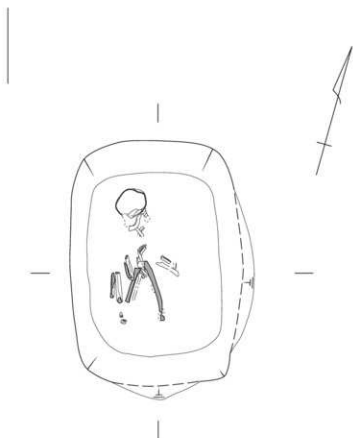
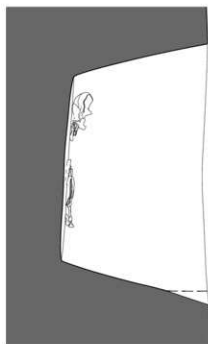
第8図 5号墓実測図 (1/20)



墓坑：長軸 1.05m
 短軸 0.96m
 深さ 0.86m
 平面形 正方形
 底面：長軸 0.76m
 短軸 0.66m
 形状 正方形
 軸方位：N-24°-W
 備考：人骨出土。釘出土。



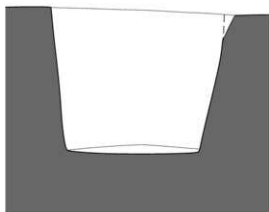
第9図 6号墓実測図 (1/20)



148.80m

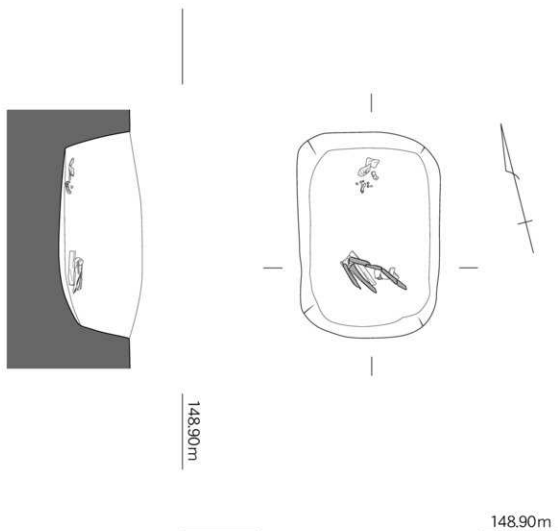
148.80m

墓坑：長軸 (1.30m)
 短軸 (0.92m)
 深さ 0.76m
 平面形 長方形
 底面：長軸 0.98m
 短軸 0.70m
 形状 長方形
 軸方位：N-16°-W
 備考：人骨出土。



0 1m

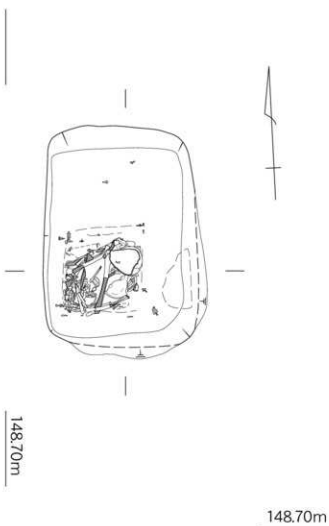
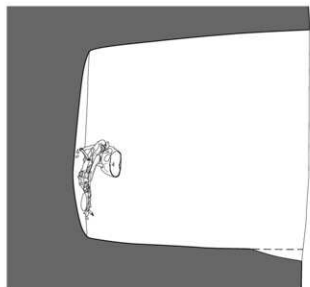
第10図 7号墓実測図 (1/20)



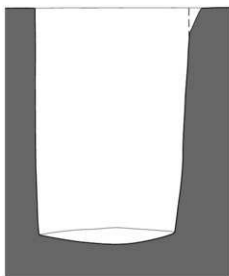
墓坑：長軸 (1.10m)
 短軸 0.74m
 深さ 0.44m
 平面形 長方形
 底面：長軸 0.94m
 短軸 0.62m
 形状 長方形
 軸方位：N-14°-E
 備考：人骨出土。



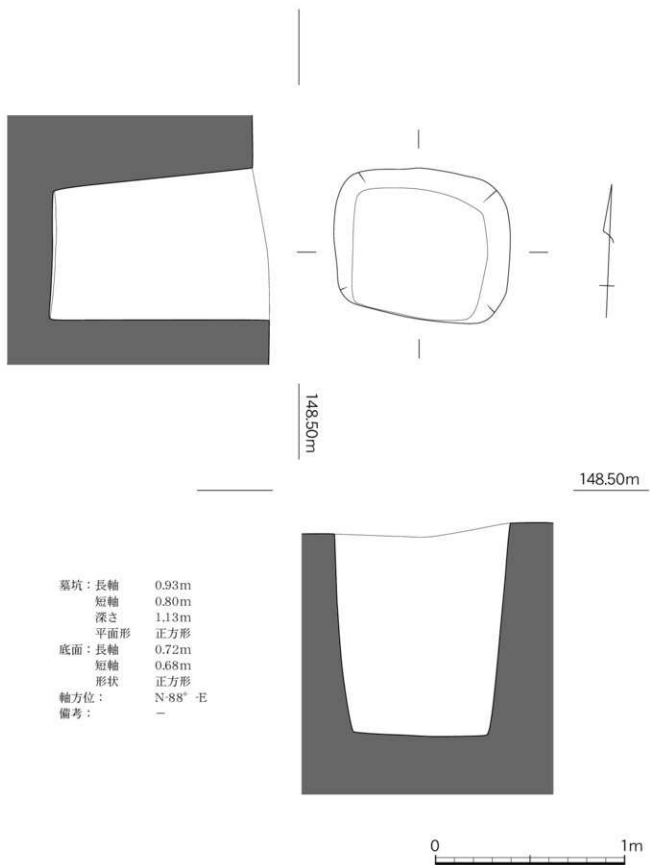
第11図 8号墓実測図 (1/20)



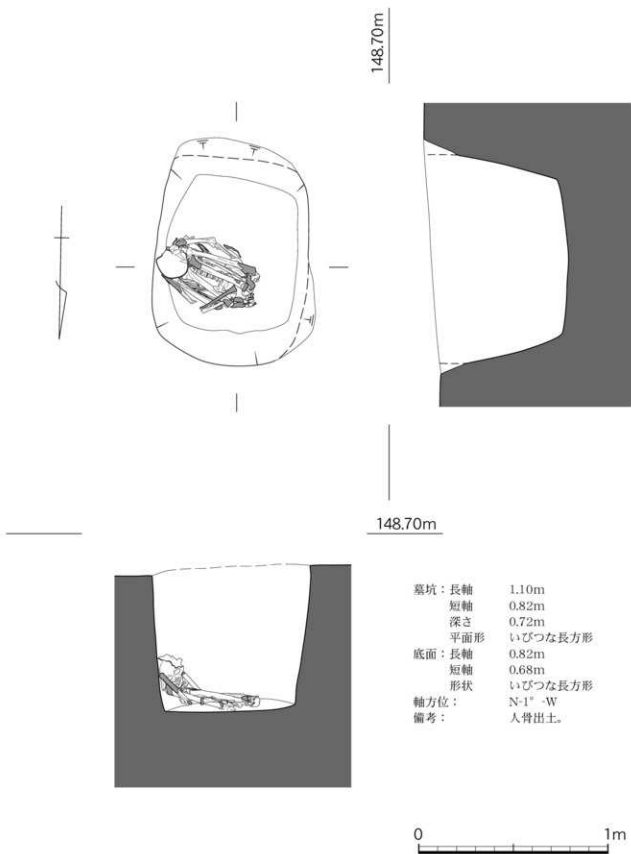
- 墓坑：長軸 (1.17m)
 短軸 (0.84m)
 深さ 1.26m
 平面形 長方形
 底面：長軸 0.99m
 短軸 0.70m
 形状 長方形
 軸方位： N-3° -W
 備考： 釘出土。40cm四方程度の正方形の
 木棺が推定される。
 人骨出土。



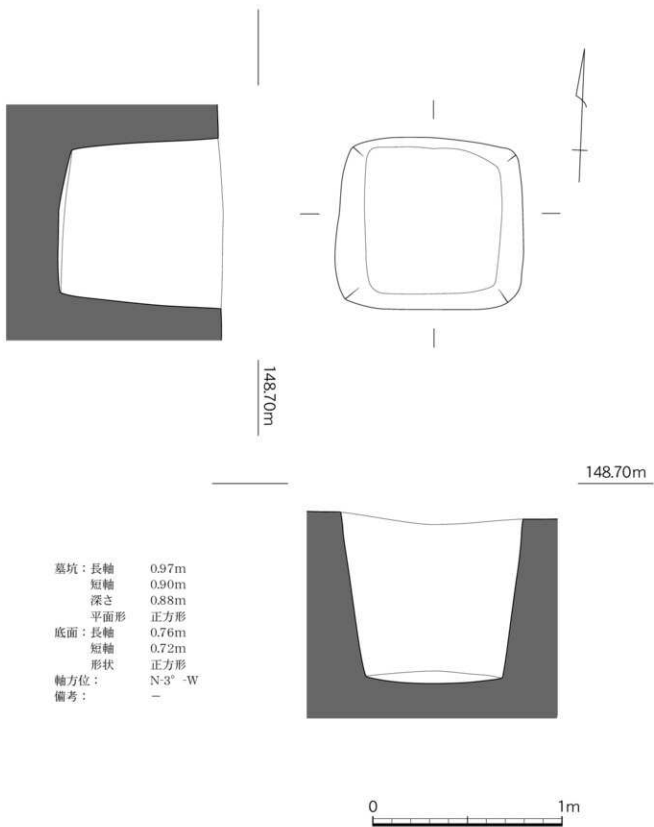
第12図 9号墓実測図 (1/20)



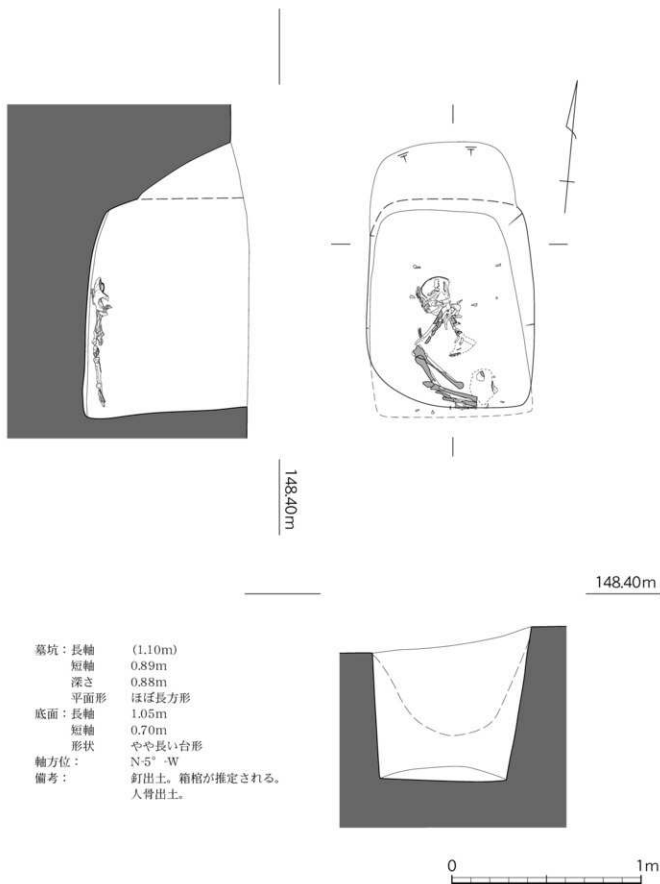
第13図 10号墓実測図 (1/20)



第14図 11号墓実測図 (1/20)

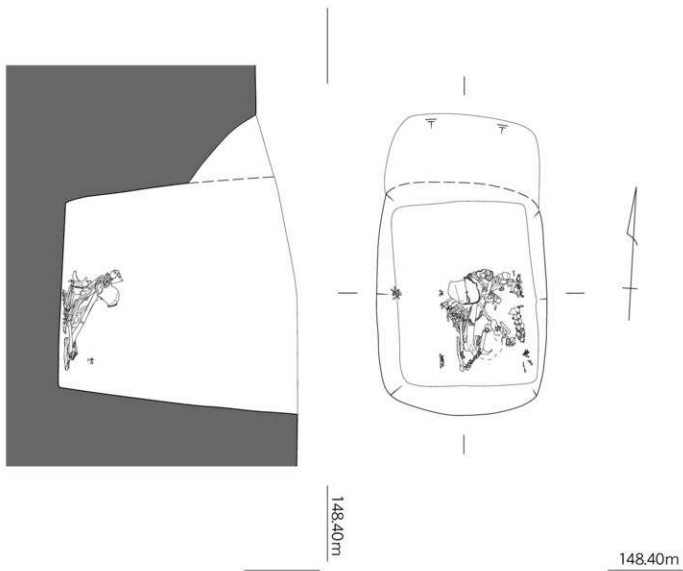


第15図 12号墓実測図 (1/20)

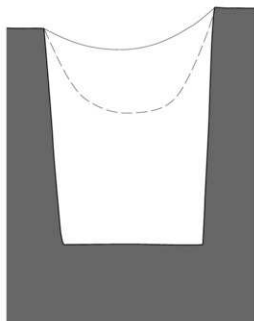


墓坑：長軸 (1.10m)
 短軸 0.89m
 深さ 0.88m
 平面形 ほぼ長方形
 底面：長軸 1.05m
 短軸 0.70m
 形状 やや長い台形
 軸方位： N-5°-W
 備考： 釘出土。箱棺が推定される。
 人骨出土。

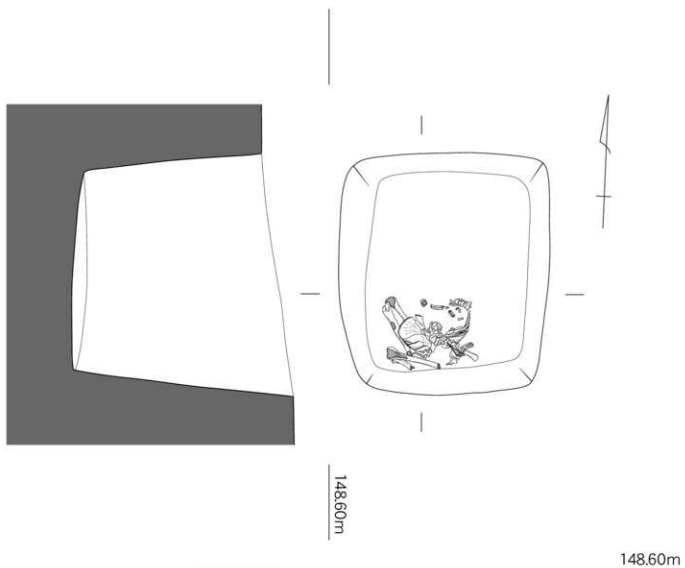
第16図 13号墓実測図 (1/20)



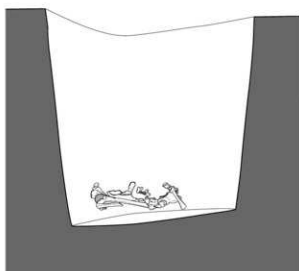
- 墓坑：長軸 (1.25m)
 短軸 0.90m
 深さ 1.25m
 平面形 長方形
 底面：長軸 0.98m
 短軸 0.73m
 形状 長方形
 軸方位：N-4° -W
 備考：釘多数出土。箱棺が推定される。
 人骨出土。



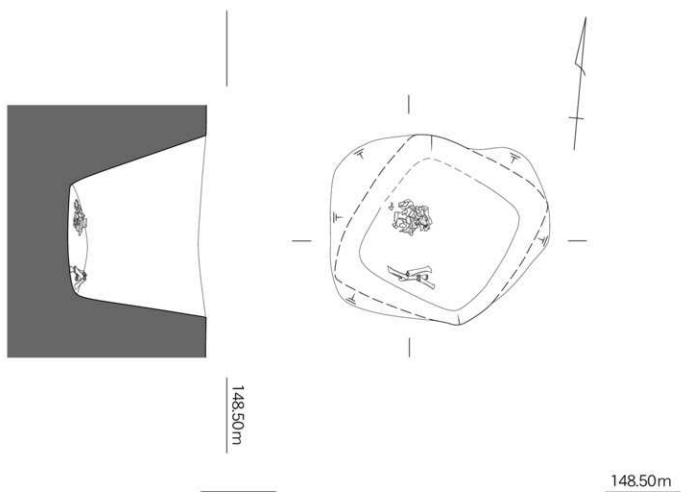
第17図 14号墓実測図 (1/20)



墓坑：長軸 1.30m
 短軸 1.10m
 深さ 1.10m
 平面形 長方形
 底面：長軸 1.05m
 短軸 0.86m
 形状 長方形
 軸方位：N-2°-E
 備考：釘出土。
 箱棺の使用が推定される。
 人骨出土。



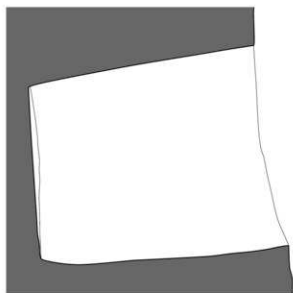
第18図 15号墓実測図 (1/20)



墓坑：長軸	(0.92m)
短軸	(0.88m)
深さ	0.70m
平面形	いびつな正方形
底面：長軸	0.70m
短軸	0.70m
形状	正方形
軸方位：	N-23° -E
備考：	人骨出土。



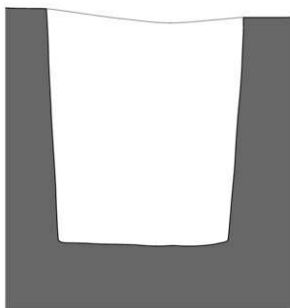
第19図 16号墓実測図 (1/20)



148.60m

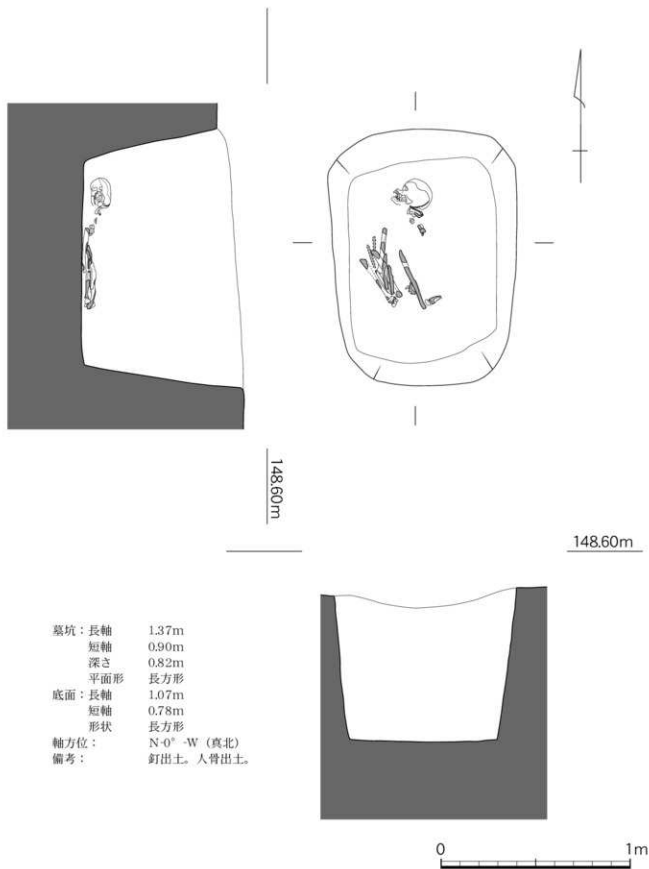
148.60m

墓坑：長軸 1.04m
 短軸 1.04m
 深さ 1.20m
 平面形 正方形
 底面：長軸 0.90m
 短軸 0.90m
 形状 正方形
 軸方位： N-7° -W
 備考： 人骨出土。

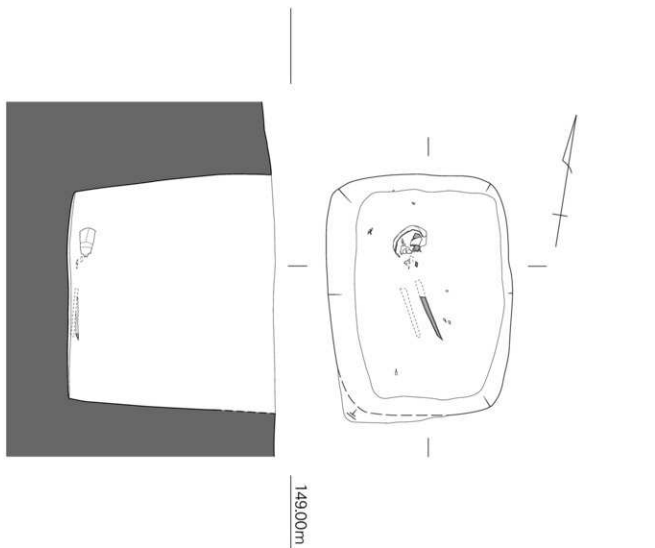


0 1m

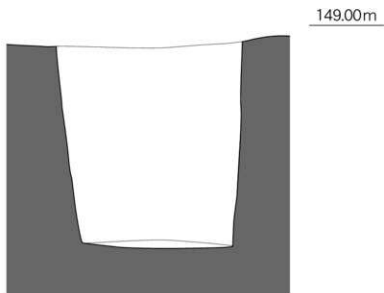
第20図 17号墓実測図 (1/20)



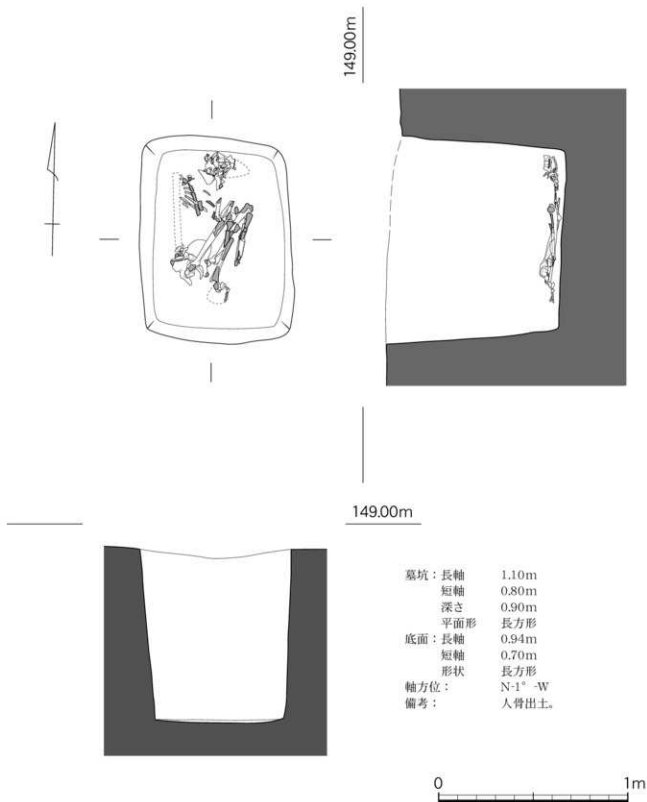
第21図 18号墓実測図 (1/20)



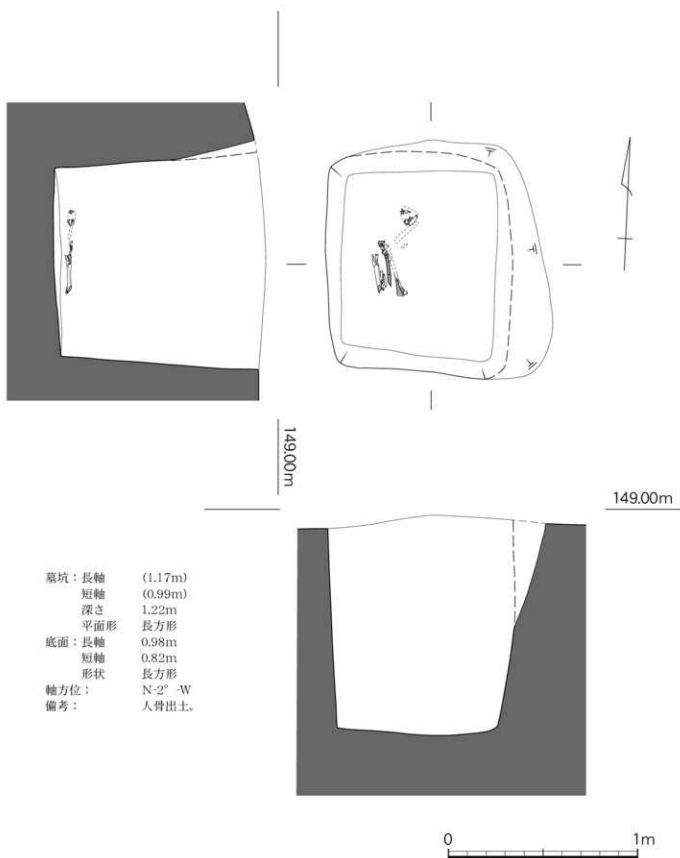
墓坑：長軸 (1.27m)
 短軸 (0.98m)
 深さ 1.10m
 平面形 長方形
 底面：長軸 1.10m
 短軸 0.78m
 形状 長方形
 軸方位： N-9°-W
 備考： 釘出土。人骨出土。



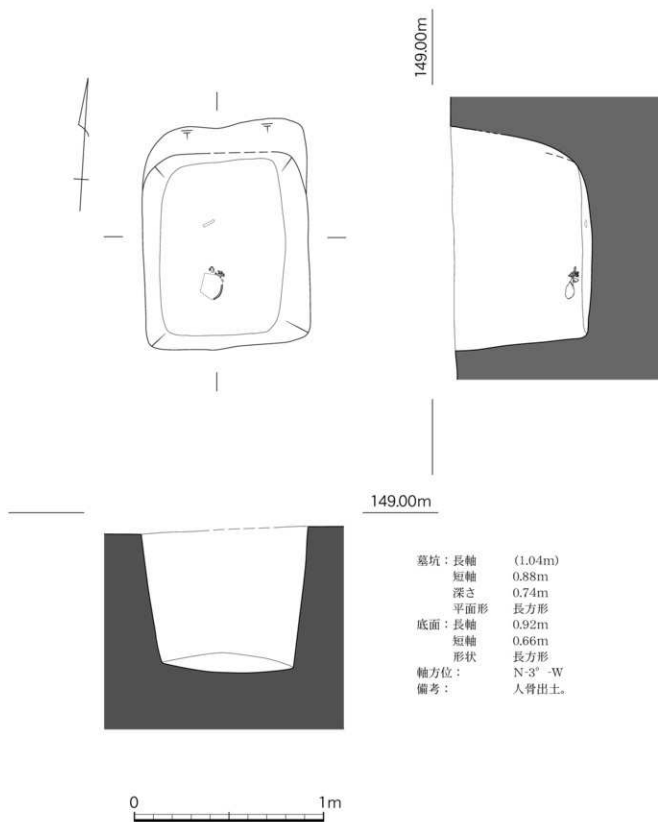
第22図 19号墓実測図 (1/20)



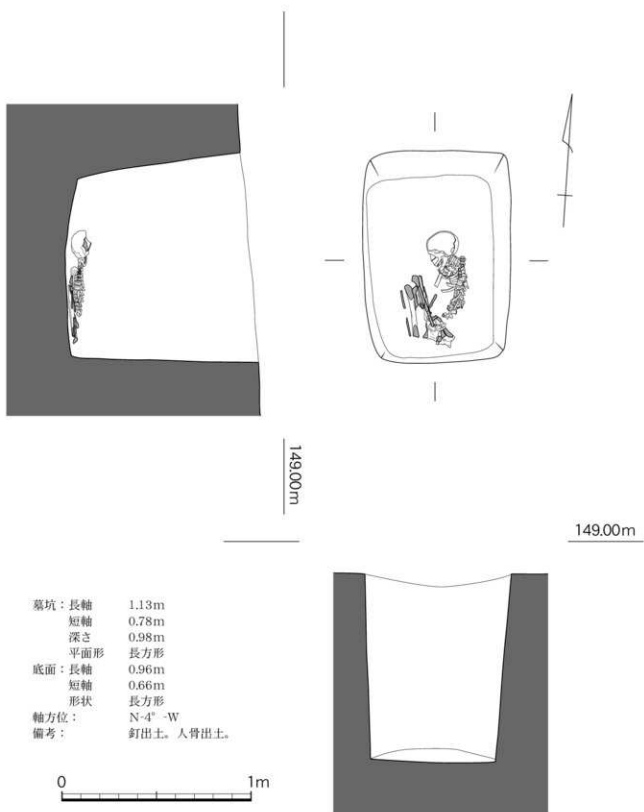
第23図 20号墓実測図 (1/20)



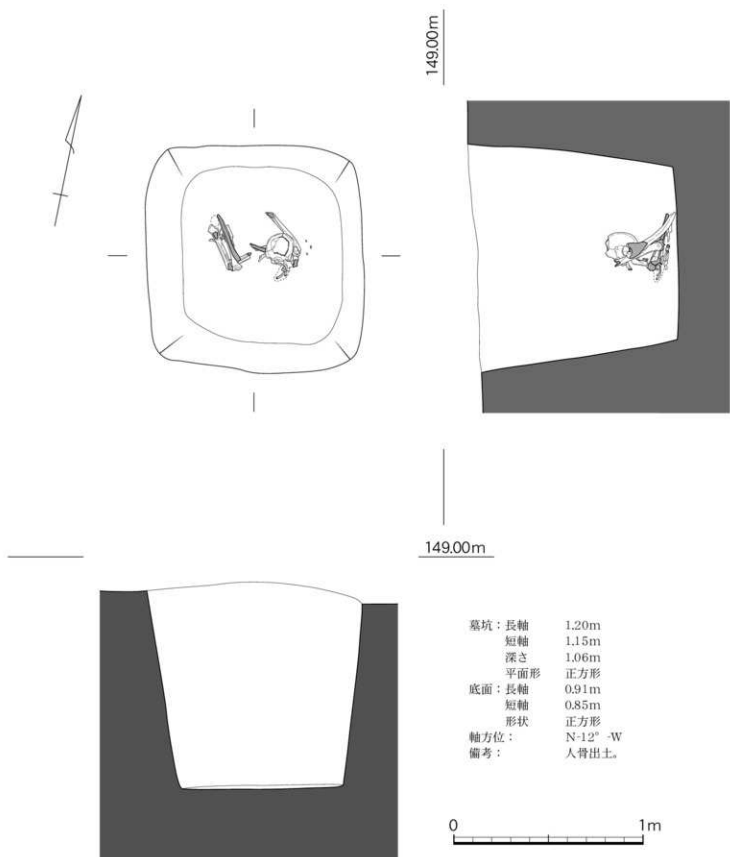
第24図 21号墓実測図 (1/20)



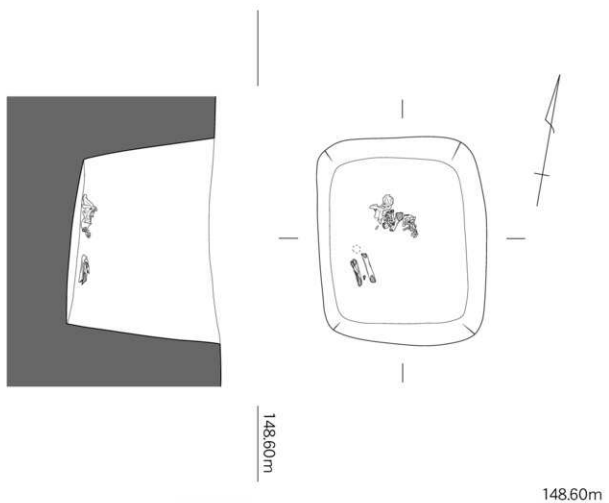
第25図 22号墓実測図 (1/20)



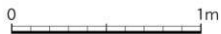
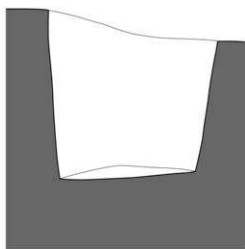
第26図 23号墓実測図 (1/20)



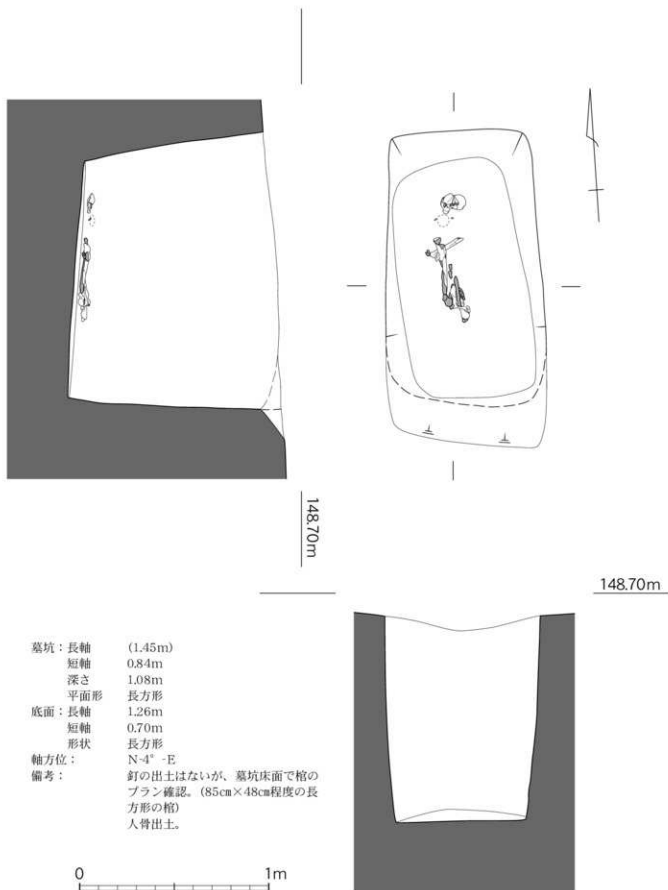
第27図 24号墓実測図 (1/20)



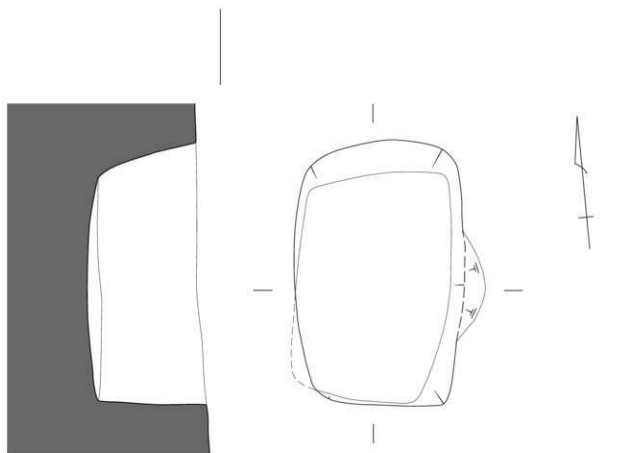
墓坑：長軸 1.10m
 短軸 0.90m
 深さ 0.74m
 平面形 長方形
 底面：長軸 0.88m
 短軸 0.73m
 形状 長方形
 軸方位：N-10°-W
 備考：釘出土。人骨出土。



第28図 25号墓実測図 (1/20)



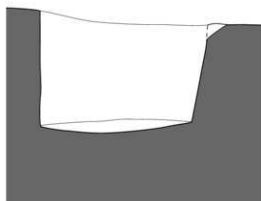
第29図 26号墓実測図 (1/20)



148.60m

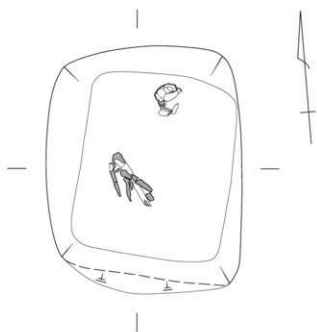
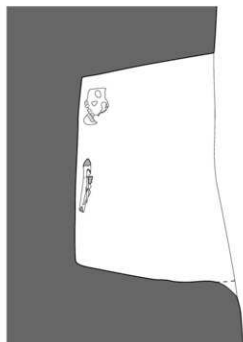
148.60m

墓坑：長軸 1.40m
 短軸 (0.90m)
 深さ 0.58m
 平面形 長方形
 底面：長軸 1.21m
 短軸 0.82m
 形状 長方形
 軸方位：N-5°-E
 備考：-



0 1m

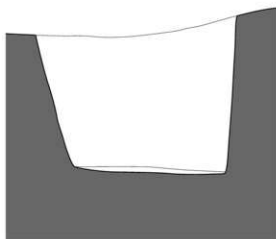
第30図 27号墓実測図 (1/20)



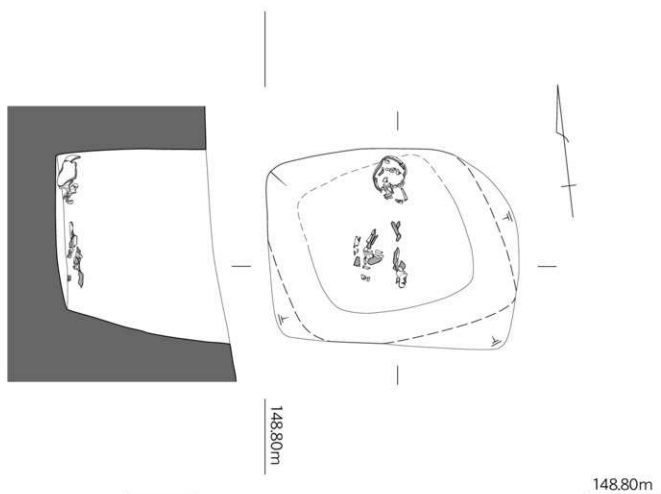
148.70m

148.70m

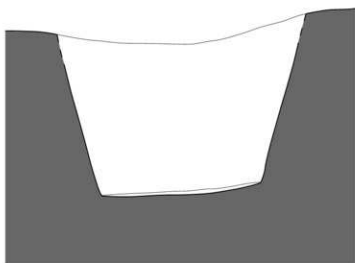
墓坑：長軸 (1.22m)
 短軸 1.04m
 深さ 0.74m
 平面形 長方形
 底面：長軸 0.98m
 短軸 0.81m
 形状 長方形
 軸方位：N-5°-E
 備考：人骨出土。



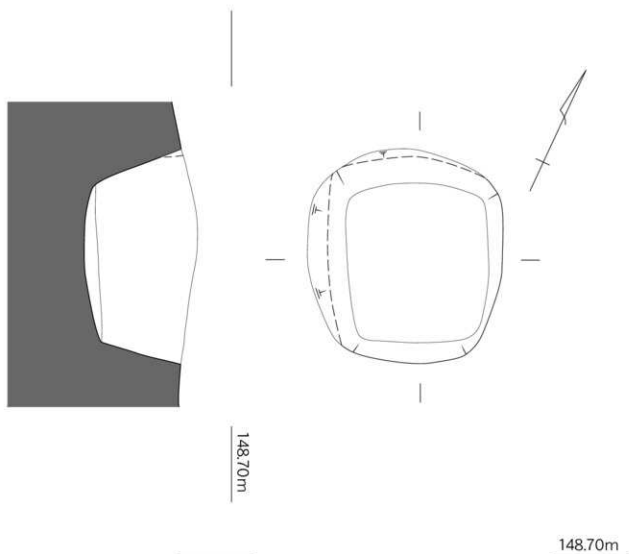
第31図 28号墓実測図 (1/20)



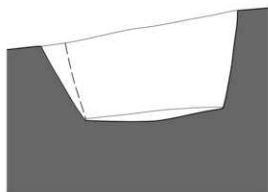
墓坑：長軸 (1.18m)
 短軸 1.04m
 深さ 0.78m
 平面形 いびつな方形
 底面：長軸 0.82m
 短軸 (0.78m)
 形状 正方形
 軸方位： N-83° -W
 備考： 人骨出土。



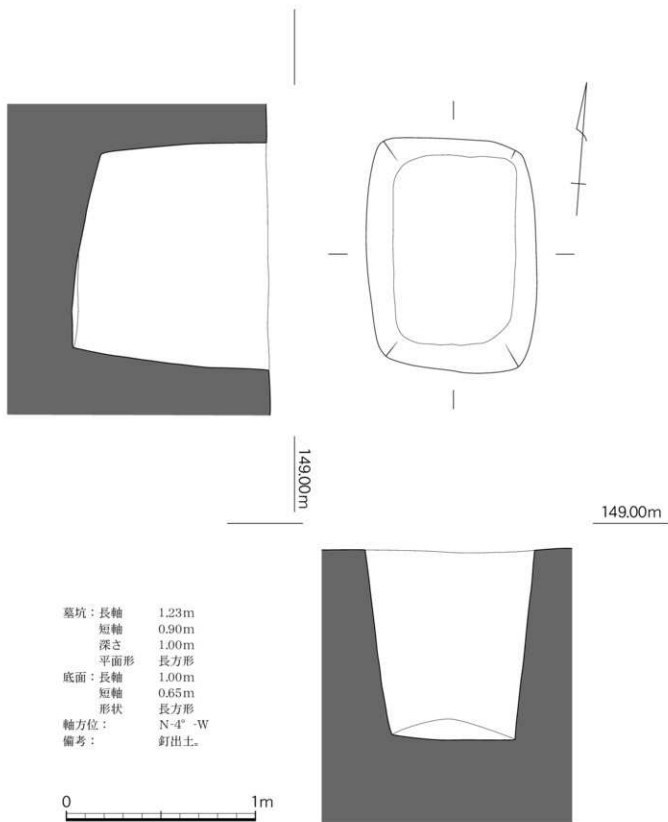
第32図 29号墓実測図 (1/20)



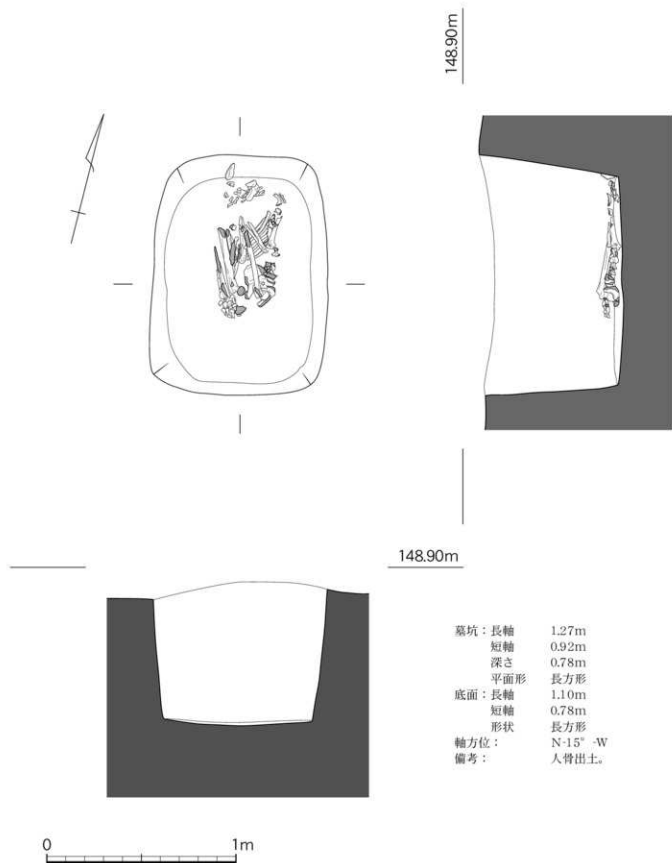
墓坑：長軸	(1.10m)
短軸	(0.92m)
深さ	0.60m
平面形	丸みを帯びた方形
底面：長軸	0.83m
短軸	0.74m
形状	正方形
軸方位：	N-25° -W
備考：	—



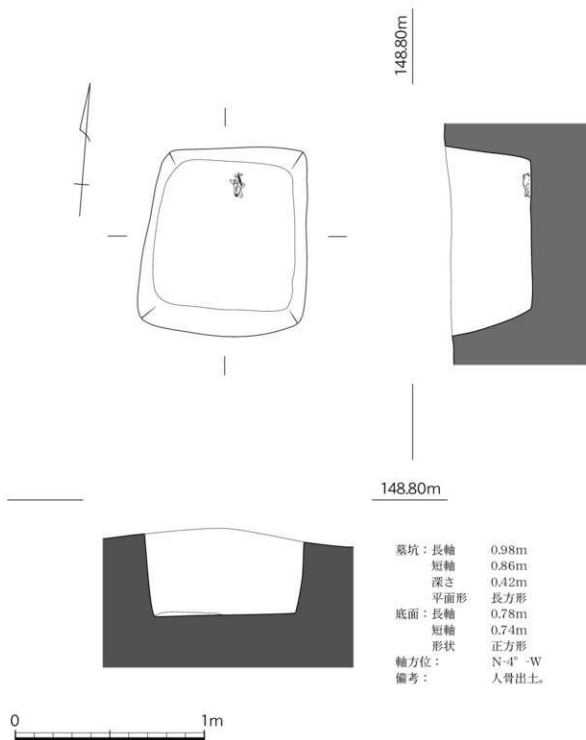
第33図 30号墓実測図 (1/20)



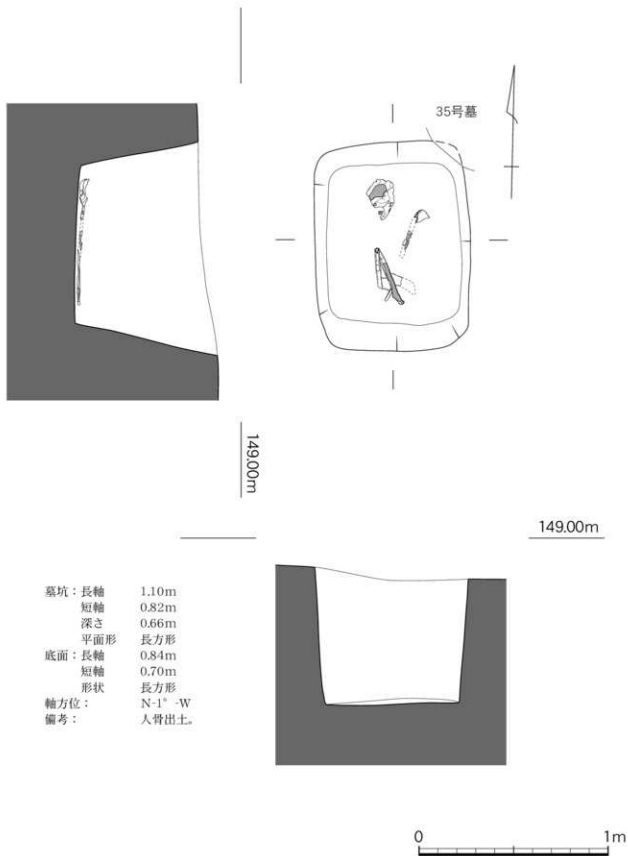
第34図 31号墓実測図 (1/20)



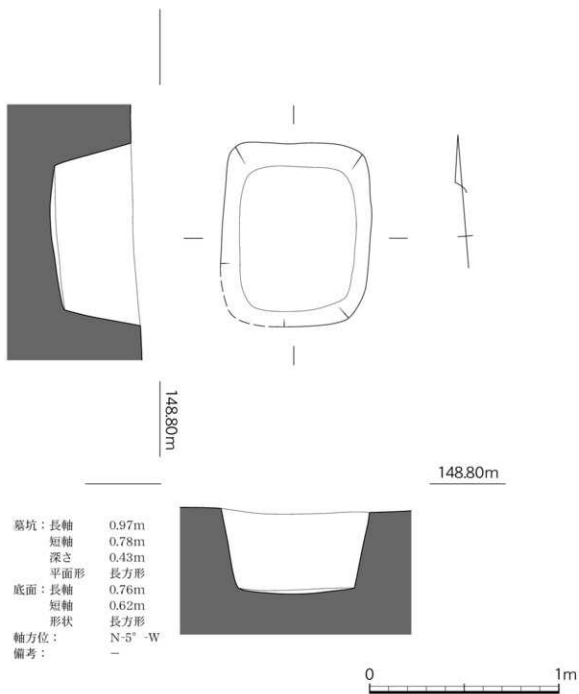
第35図 32号墓実測図 (1/20)



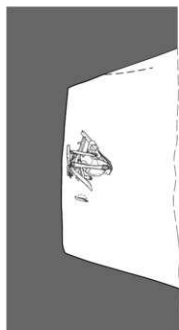
第36図 33号墓実測図 (1/20)



第37図 34号墓実測図 (1/20)



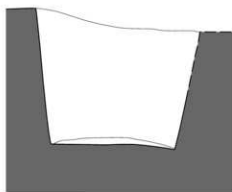
第38図 35号墓実測図 (1/20)



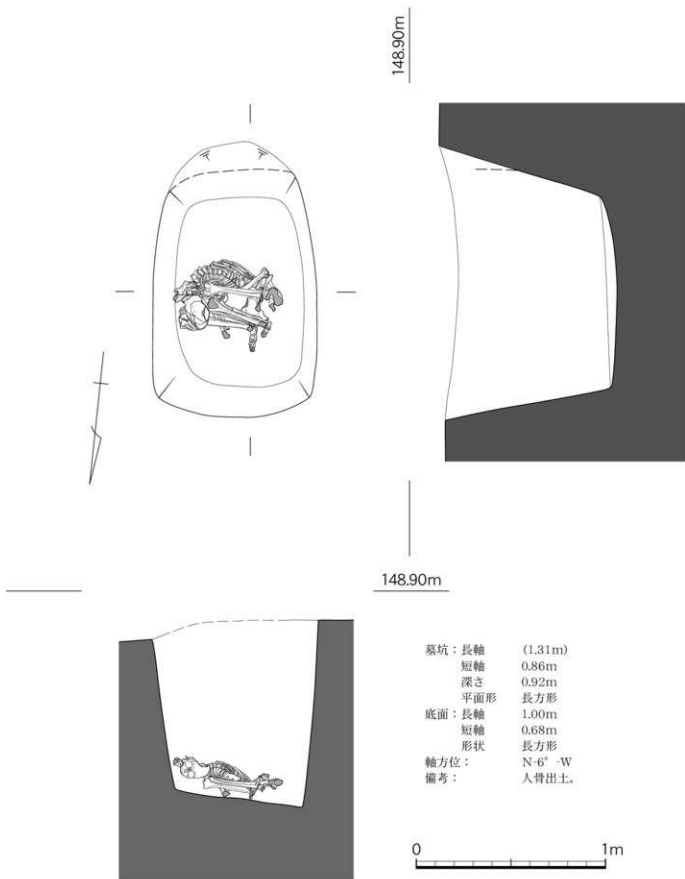
148.80m

148.80m

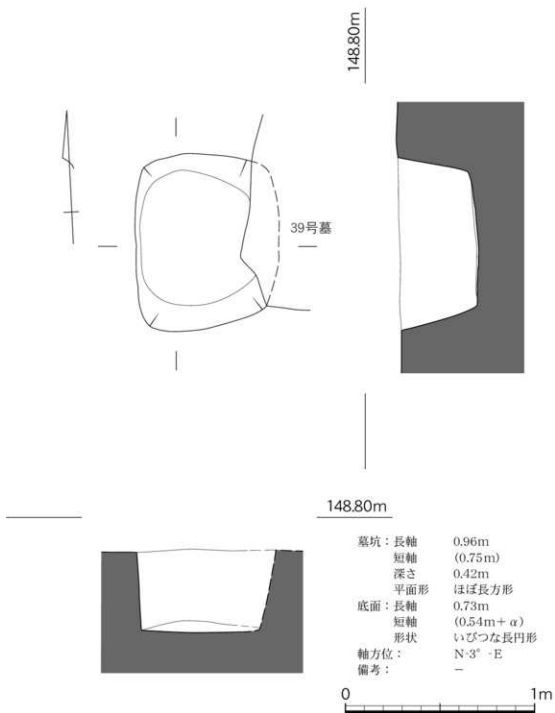
墓坑：長軸 (1.14m)
 短軸 (0.88m)
 深さ 0.60m
 平面形 長方形
 底面：長軸 0.88m
 短軸 0.65m
 形状 長方形
 軸方位： N-2°-W
 備考： 釘出土。人骨出土。



第39図 36号墓実測図 (1/20)



第40図 37号墓実測図 (1/20)

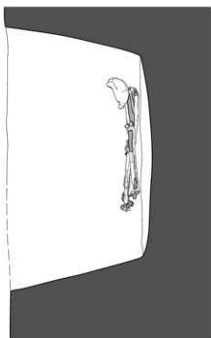


第41図 38号墓実測図 (1/20)

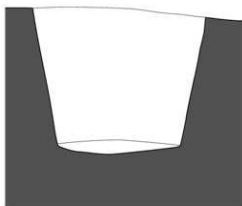


38号墓

148.70m



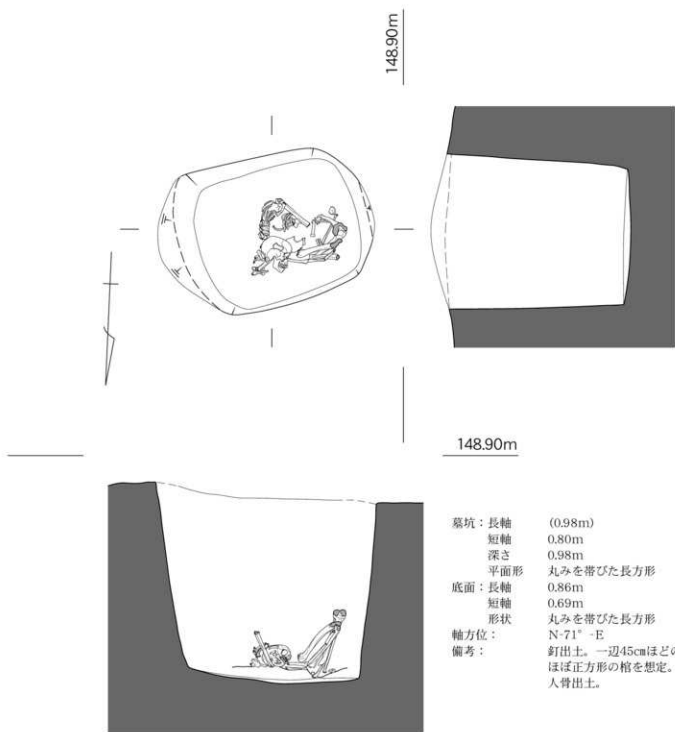
148.70m



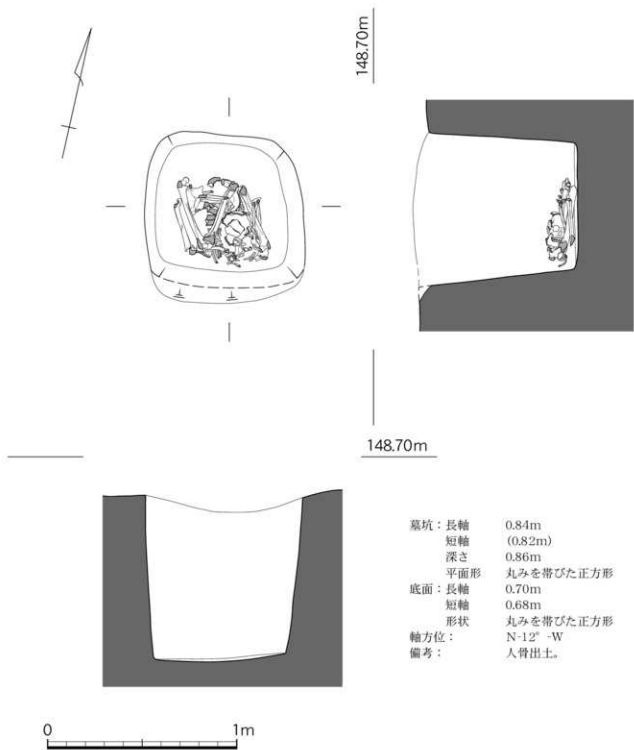
墓坑：長軸 1.40m
 短軸 0.92m
 深さ 0.78m
 平面形 長方形
 底面：長軸 1.09m
 短軸 0.65m
 形状 長方形
 軸方位： N-16°-E
 備考： 人骨出土。

0 1m

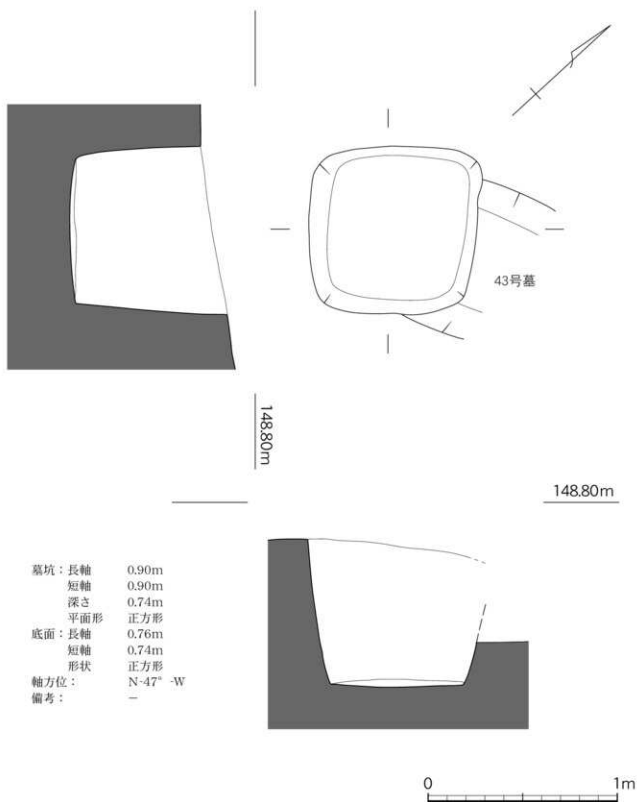
第42図 39号墓実測図 (1/20)



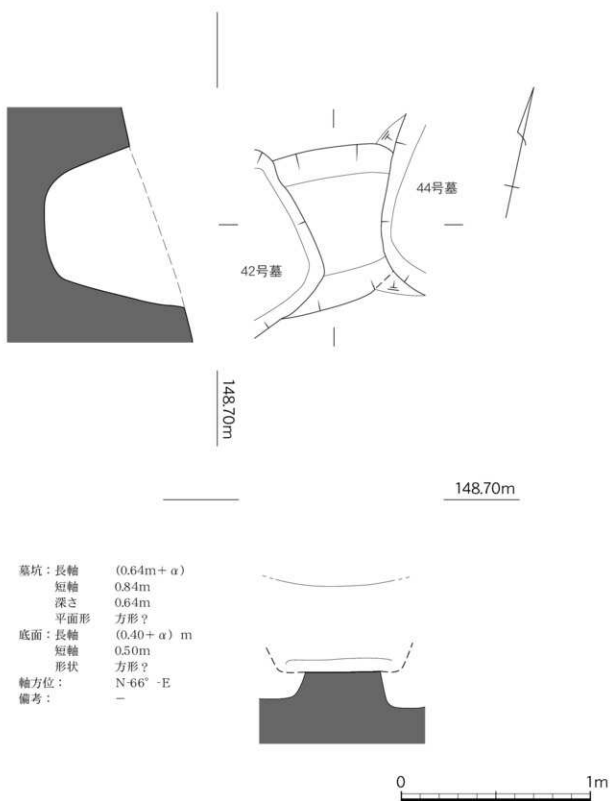
第43図 40号墓実測図 (1/20)



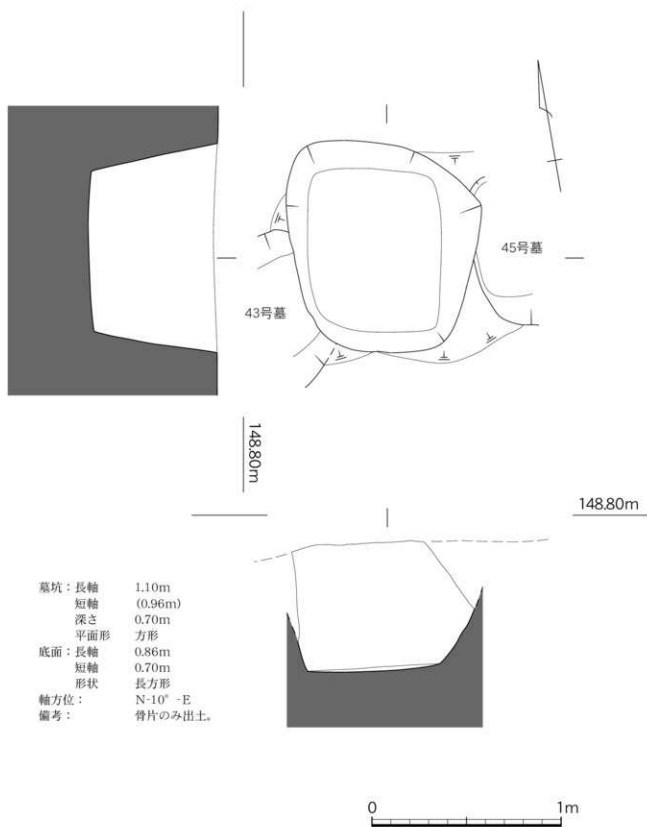
第44図 41号墓実測図 (1/20)



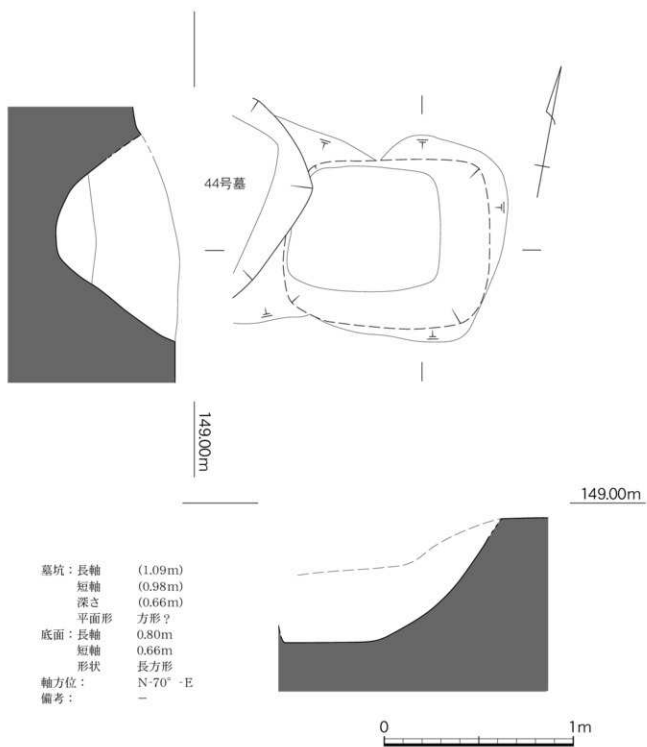
第45図 42号墓実測図 (1/20)



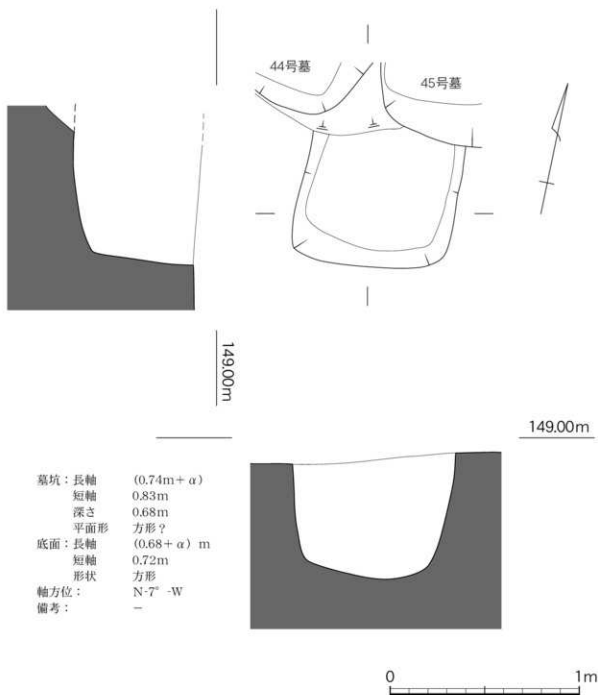
第46图 43号墓实测图 (1/20)



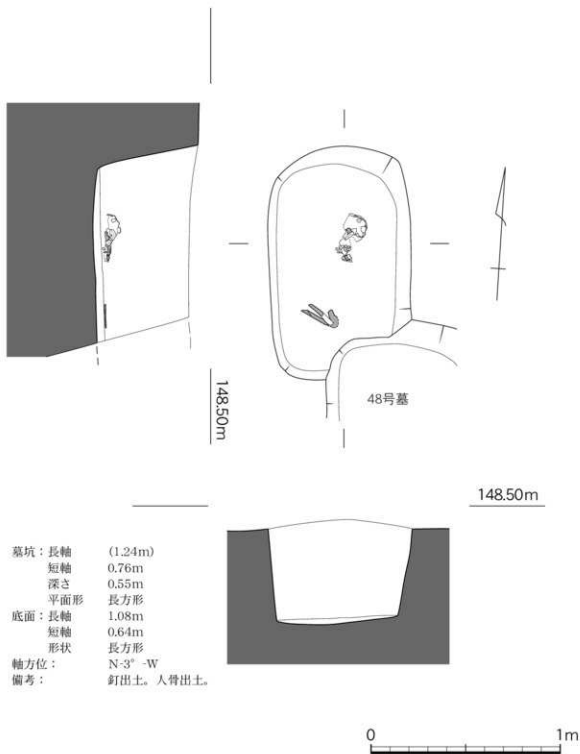
第47図 44号墓実測図 (1/20)



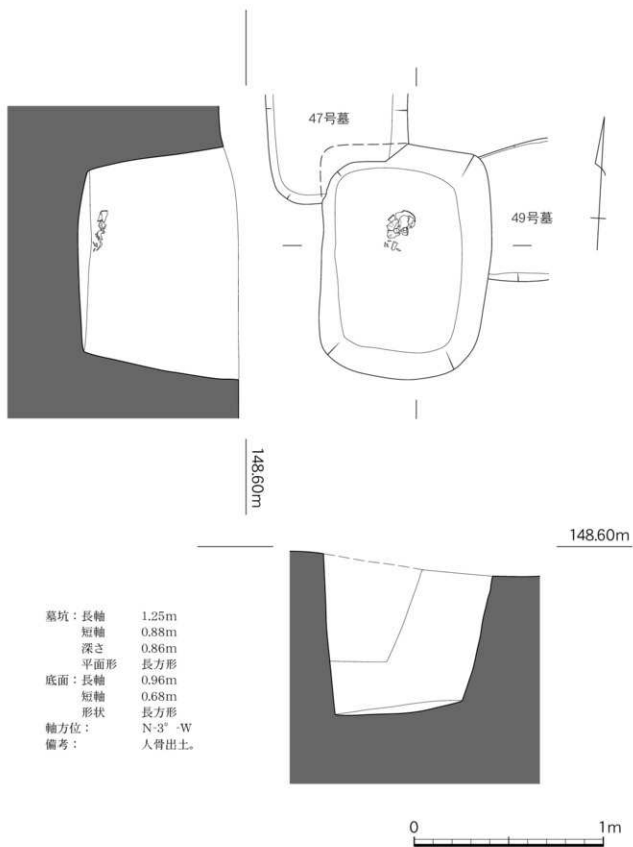
第48图 45号墓实测图 (1/20)



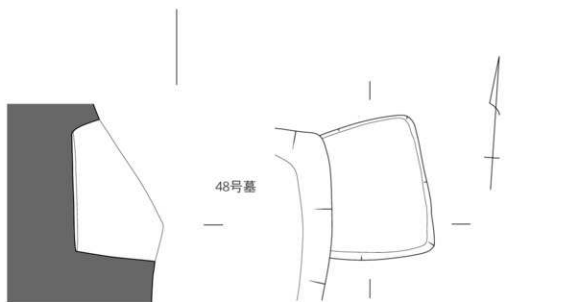
第49图 46号墓实测图 (1/20)



第50図 47号墓実測図 (1/20)



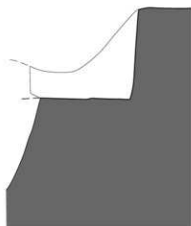
第51图 48号墓实测图 (1/20)



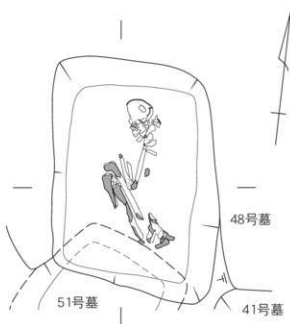
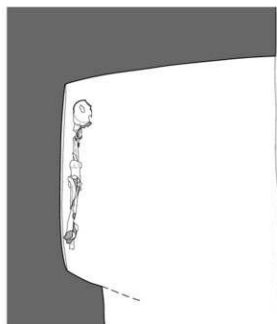
148.70m

148.70m

墓坑：長軸 (0.52 + α) m
 短軸 0.74m
 深さ 0.47m
 平面形 方形？
 底面：長軸 (0.50 + α) m
 短軸 0.68m
 形状 方形？
 軸方位： N-80° -E
 備考： -



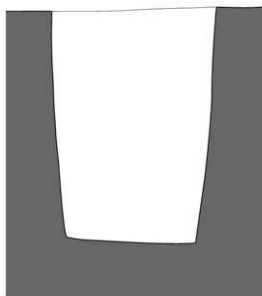
第52図 49号墓実測図 (1/20)



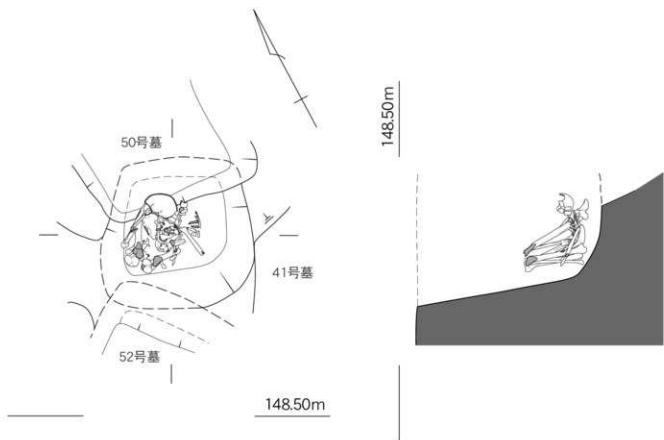
148.50m

148.50m

墓坑：長軸 (1.18m)
 短軸 0.88m
 深さ 1.22m
 平面形 長方形
 底面：長軸 1.00m
 短軸 0.70m
 形状 長方形
 軸方位： N-7° -W
 備考： 釘出土。人骨出土。



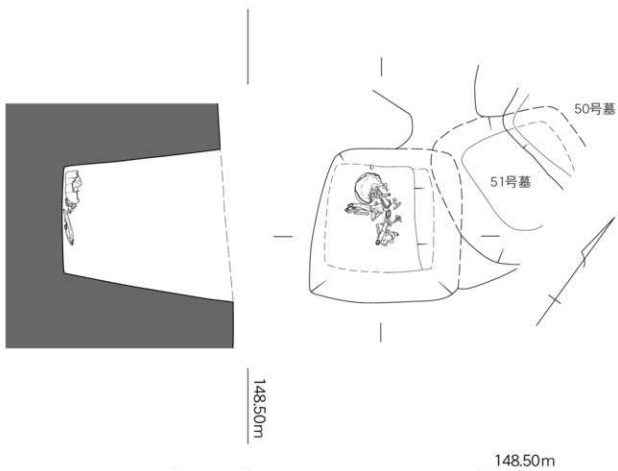
第53図 50号墓実測図 (1/20)



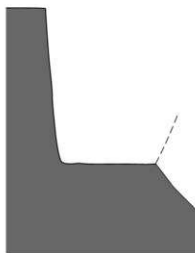
- 墓坑：長軸 (0.80m)
 短軸 (0.80m)
 深さ 0.96m
 平面形 正方形？
 底面：長軸 (0.34+α) m
 短軸 0.55m
 形状 正方形？
 軸方位： N-29° -E
 備考： 釘出土。40cm四方程度の箱棺か。角にあたる部分からも釘が出土しており、丸桶ではなさそう。
 人骨出土。



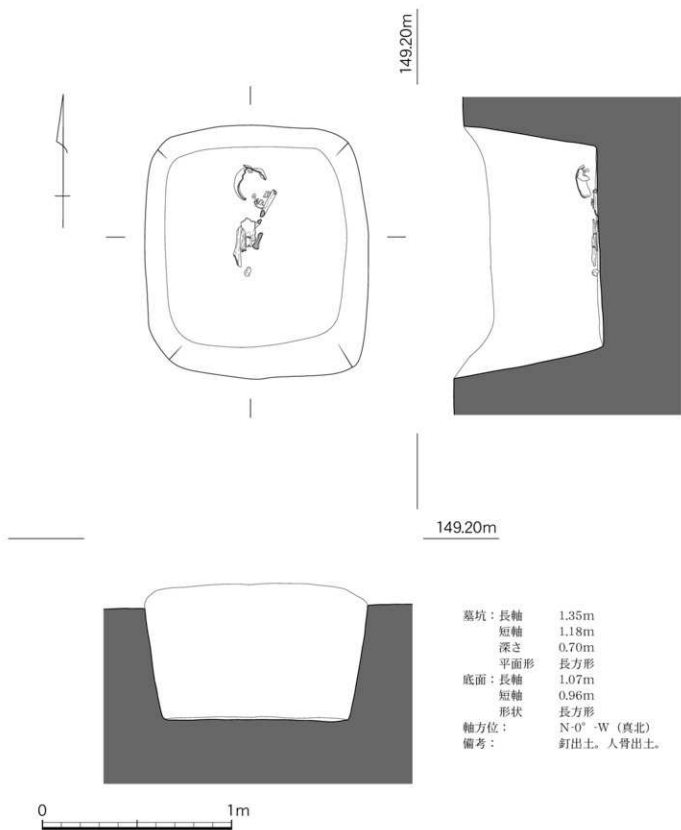
第54図 51号墓実測図 (1/20)



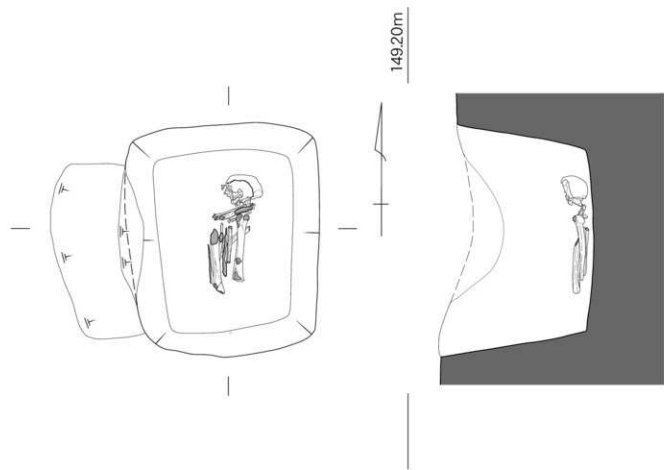
墓坑：長軸	0.82m
短軸	(0.72m)
深さ	(0.86m)
平面形	正方形？
底面：長軸	0.54m
短軸	(0.47 + α) m
形状	正方形？
軸方位：	N-36°-W
備考：	人骨出土。



第55図 52号墓実測図 (1/20)



第56図 53号墓実測図 (1/20)



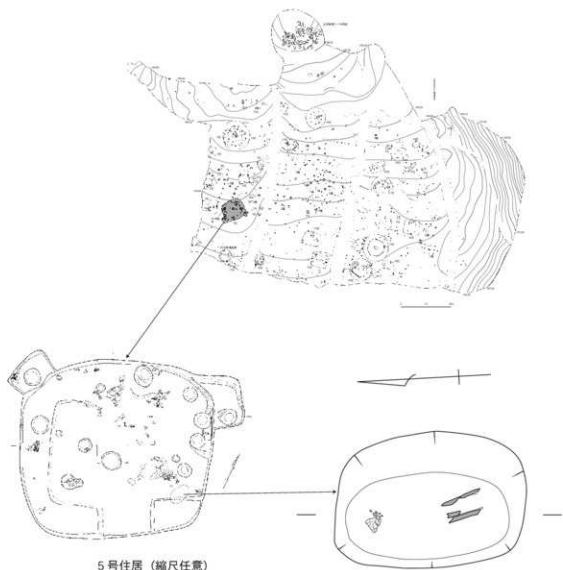
149.20m



0 1m

墓坑：長軸	1.23m
短軸	(1.07m)
深さ	0.72m
平面形	長方形
底面：長軸	0.96m
短軸	0.72m
形状	長方形
軸方位：	N-0° -W (真北)
備考：	人骨出土。

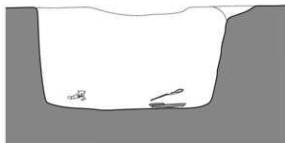
第57図 54号墓実測図 (1/20)



5号住居 (縮尺任意)

144.70m

墓坑：長軸	1.00m
短軸	0.72m
深さ	0.54m
平面形	丸みを帯びた長方形
底面：長軸	0.88m
短軸	0.46m
形状	長円形
軸方位：	N-23° E
備考：	人骨出土。



0 1m

第58図 55号墓実測図 (1/20)

報 告 書 抄 録

ふりがな	ぎおんばるいせきⅡ（きんせいほへん1）
書名	祇園原遺跡Ⅱ（近世墓編1）
副書名	ウッドコンビナート建設推進事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	6
シリーズ名	日田市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第96集
編著者名	行時 桂子
編集機関	日田市教育庁文化財保護課
所在地	〒877-0077 日田市南友田町516-1
発行機関	日田市教育委員会
所在地	〒877-8601 日田市田島2丁目6-1
発行年月日	2010年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
ぎおんばるいせき 祇園原遺跡	大分県日田市大字 東有田字キオン 原	44204-6	204222	33°18'43"	130°58'04"	19960307 ～ 19961003	9,828㎡	ウッドコンビナート建設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
祇園原遺跡	墓地	近世	近世墓 55基	人骨	墓石10基あり

要 約	<p>調査では、丘陵の微高地に集中して営まれた54基の近世墓と、弥生時代中期末～後期前半の竪穴住居を切る1基の近世墓が確認された。墓坑内部からは総数40体の人骨が出土しており、座葬や屈葬などが確認されたものの、副葬品を持つものは見られなかった。墓坑の配置を見ると数グループに分けられそうで、墓坑が切り合う一群と、全く切りあわない一群などの差が看取できる。</p> <p>なお、墓石の調査や人骨の分析等については、後日刊行予定である。</p>
-----	--

祇園原遺跡Ⅱ（近世墓編1）

2010年3月31日

編 集 日田市教育庁 文化財保護課
〒877-0077 大分県日田市南友田町516-1

発 行 日田市教育委員会
〒877-8601 大分県日田市田島2丁目6-1

印 刷 尾花印刷有限会社
〒877-0026 大分県日田市田島本町8-8

